

ふくしまピーチホリデイ2022 第5弾
ひょう被害桃が飛ぶように売れた！
仙台2会場で行列、ふくしまの桃7200個が2日で完売！！
7/30～7/31 生産者支援販売会を開催

7月30日・31日の2日間、一社) 福島市観光コンベンション協会は、福島市農業振興課と連携し、JR仙台駅2階「ヨリ未知ポータル」と仙台三越前特設テントにおいて、ひょう被害果樹を含む福島市産の桃の販売会を実施しました。

6月に発生した降ひょうにより桃、梨、ブドウ、リンゴなど多品種に渡って被害がありました。被害果樹は傷が黒く残るなど例年であればA級のものがB級以下の取り扱いとなり生産農家の収入源、販路の縮小などが懸念されています。

そこで当会では、仙台市文化観光局東北連携推進室、仙台市東日本旅客鉄道株式会社仙台支社、福島駅、株式会社仙台三越(※敬称略)等多くの支援のもと、7月30日(土)、31日(日)の2日間、JR仙台駅構内2階エリア「ヨリ未知ポータル」と、四丁目商店街「仙台三越前」特設テントの2カ所において、ひょう害を受けた福島市産「桃」の販売会を開催、一般販売用の桃も含む約7200個を準備したところ、両会場ともに購入を求めるお客様の列が途切れることなく、大盛況のうちに完売、中には2日連続で来店する方もおり、改めて福島の桃の人気ぶりを実感しました。

桃を購入した方からは、「硬めで甘いふくしまの桃。これが一番おいしいの「ひょうで傷ついた桃でもその部分だけ取り除けば全く問題ない。家に帰って楽しませていただきます」

「買い物に仙台に出てきたら、福島市の新鮮な「桃」を購入することができてうれしい」

「今度は、実際に福島市へ旅行に行って、桃の購入や様々な桃スイーツを楽しみたい」

といった声を頂きました。なお、来場者の方々へは、桃の販売と合わせて現在展開中の「ふくしまピーチホリデイ」スタンプラリーでの福島への来訪などを呼びかけました。

■開催概要と販売実績

・JR仙台駅会場

開催日：2022年7月30日(土)・31日(日) 10時～18時

場所：仙台駅2階「ヨリ未知ポータル」スペース

販売個数：あかつき 約3,200個

来場者数：約2,000人

・仙台三越前会場

開催日：2022年7月30日(土)・31日(日) 10時～17時

場所：仙台三越前(本館1階外 四丁目商店街側)

販売個数：あかつき 約4,000個

来場者数：約1,500人

福島市観光コンベンション協会では、今後も様々な地域で、ひょう害を受けた果物の支援とふくしまピーチホリデイを通じて、市内飲食店巡りや果樹体験、温泉めぐりなど、福島の魅力をもPRしていく予定です。

■ J R仙台駅会場



■ 仙台三越会場



《本件に関するお問合せ先》

DMO 一社 福島市観光コンベンション協会（福島市五月町 酪農会館 303）
（担当：横葉）

TEL : 0 2 4 - 5 6 3 - 5 5 5 4

E-mail : yokoha-j@f-kankou.jp